

AAP (あきたアドベンチャープログラム) の紹介

※令和7年度から、プロジェクトアドベンチャー（PA）の名称がAAPに変更となりました。



▲「リングTOリング」 そーっと下ろすよ



▲「ビーイング」 気付いたことをみんなで書こう

◎AAP（あきたアドベンチャープログラム）って何ですか？

人間関係を築く上で大切な「信頼する心」の育成や「未知のことに取り組むチャレンジ精神」を高めることをねらって組織的に行う体験活動です。

具体的には、カードを使った簡単なゲーム的活動から、心身両面が試されるややハードな挑戦まで、その活動メニューは様々です。「ビーイング」と呼ばれる振り返り・話し合いの時間をもつことにより、さらに効果の高まりが期待できます。

◎AAP（あきたアドベンチャープログラム）で何が期待できるのですか？

実際に子どもたちにAAP（旧名称PA）を体験させた先生方の声です。

（１）AAP体験中に

- ・AAPを通じて、それまで気付かなかった子どもたちの意外な一面（優しさ、リーダーシップ等）を知ることができた。
- ・活動する中で、集団が和やかな雰囲気になった。
- ・子どもたちが自ら、互いに声を掛けたり、励ましたりできるようになった。
- ・誰一人あきらめず、粘り強く頑張り続ける体験ができた。
- ・活動が分かりやすく、子どもたちが達成感を味わうことができた。
- ・AAPにより、学校間の関わりを深めることができた。
- ・仲間づくりや連帯感を生むプログラムでよかった。

（２）AAP体験後の日常生活で

- ・AAP体験後の様々な活動の中で、AAP体験時のことを児童に問い掛けることによって、行動を変えようとする態度が見られるようになった。
- ・普段は遠慮することが多い児童が、自分の意見を伝える場面が見られるようになってきた。
- ・成功体験を共有したことで、係や委員会活動でも協力して活動する児童が多くなった。
- ・アンケート調査結果から交友関係の広がりが見られ、自己肯定感の高まりも顕著であった。
- ・AAPを体験した時間で終わりではなく、AAPで学んだ子どもたちのよさを継続させる工夫が必要である。

◎AAPには、どんなものがあるのですか？

①アクティビティ：道具の使用なし、又は簡単な道具を使用して行う活動。

〈例〉「ビート」二人組でリズムと呼吸を合わせて手の平を合わせていきます。失敗してもなぜか笑い合えるゲームです。

「ウブンツ」複数の物が描かれている絵カードを見せ合い、同じものを早く見つけた人がそのカードをもらえます。

②エ レ メ ン ト：大がかりな器具を使用して行う活動。

〈例〉「川 渡 り」ターザンロープで向かい側に設置した木の台に着地。メンバー全員が台に立っていられたらミッションクリア。

「シーソー」シーソー状になっている1枚の板がどちらかに「ガタン！」とならないように全員が乗り込みます。

大まかに①と②に分けられます。自然の家で活動する場合は、エレメントも体験できます。AAPを行う際は、以下の**3つの理念**のもとに行います。

A「チャレンジバイチョイス」

関わりのタイミングや度合いは本人の意思によるものとする。

B「フルバリューコントラクト」

互いを最大限に尊重し合うための約束を共有する。

C「体験学習サイクル」

〈体験→振り返り→気づき→活用〉という学びを得る過程を大事にする。

◆活動に際してのお願い（一例）

- ・自信のないこと、苦手なことにちょっとチャレンジしてみましょう。
- ・「身体」と「心」の安全を守って活動しましょう。
→無理しすぎない。誰かの心にグサッと刺さるようなことを言わない。
- ・活動中の気づきは、どんどん発言していきましょう。



▲「ビート」 4人組でもできるかな？



▲「ウブンツ」 セーの！同じ絵はどこかな？



▲「シーソー」 揺れるよ！ゆっくり



▲「川渡り」 行くよーっ！落ちないで！

◎どのように利用したらよいのですか？

(1) 自然の家での活動プログラムとして

宿泊体験学習で自然の家をご利用いただいている団体には、1泊2日のスケジュールの中で実施（2～3時間）することが定着してきています。

エレメントを使ったダイナミックな活動もできるところが魅力です。

また、学級や学年単位で来所し、日帰りで利用される団体もあります。

(2) 出前講座：児童生徒を対象として

エレメントの利用はできませんが、学校の体育館等を会場にしたアクティビティ中心の活動でもAAPの効果は充分期待できます。年度初めの学級開きや学級目標の設定時、長期休業明け、集団が変化を迎えるタイミングでの利用はもちろんのこと、日常の学級づくりにも有効です。

所要時間は2時間程度が理想ですが、45～50分程度の短時間にも対応します。人数が多いときは、グループに分けて実施することもあります。

(3) 出前講座：教職員を対象として

AAPは初任者研修でも実施していますが、職員の校内研修としての実施もお勧めです。AAPを体験しその理解を深めることで、子どもの見方や子どもへの接し方が変わり、学級経営や授業づくりに役立つものと考えています。

◎実際に出前講座として、どのような利用がありましたか？

- ・学級開きで（小学3年生）
- ・PTA総会の時間を利用して（小学校全校AAPを実施）
- ・合同修学旅行前の顔合わせで（小学6年生）
- ・複数の小学校から入学予定の中学校体験入学で（小学6年生）
- ・複数の小学校から入学した中学校で（中学1年生）
- ・統合前の高校や中学校の生徒間交流で（高校1・2年生、中学1年生）
- ・他校との交流学习として（中学校各学年）
- ・親子レクの交流で（小学校各学年）

◎AAP利用者の感想から

<子どもたちから>

- ・みんなで活動してみて、他の人の意見も大切にし、自分の意見も出して、それを基にして考えて行動に移すことが楽しかった。
- ・AAPをやってみて、いつもより変わったなと思った。特に仲間を信頼したり、男女で協力したりすることが心に残った。

<小・中学校初任者研修参加者から>

- ・全員が活動に参加し、活動を通して他者と関わり合い、ゴールを目指していく。そこに「誰も見捨てない」「協調性」という性質があると感じた。

<企業新入社員研修参加者から>

- ・みんなの意見を取り入れつつ、自分の意見をいつもよりたくさん出すことができた。お互いをサポートしながらミッションをクリアすることができた。AAPは見た目は楽しいゲームですが、中身は仕事をする上でとても大切なことを学べるものだった。

利用の手続きについて

自然の家を利用する場合は、利用決定通知を受けた後に「利用打合せ用紙（様式2）」と「AAP実施前アンケート」を提出してください。

出前講座として実施する場合は、日時に関する電話予約をした後に「出前講座申請書（様式3）」と「実施前アンケート」を提出してください。

御利用についてのお問合せは、わんパーク大館（大館少年自然の家）指導チームまでお願いします。TEL:0186(43)3174 FAX:0186(43)3175